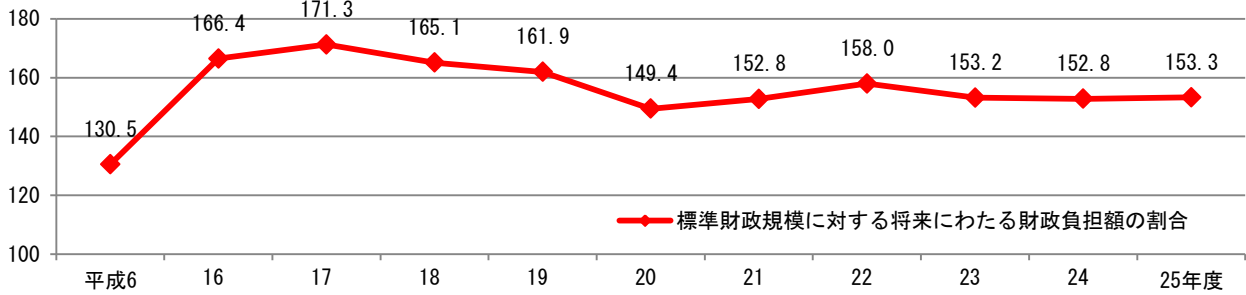


(3) 将来にわたる財政負担

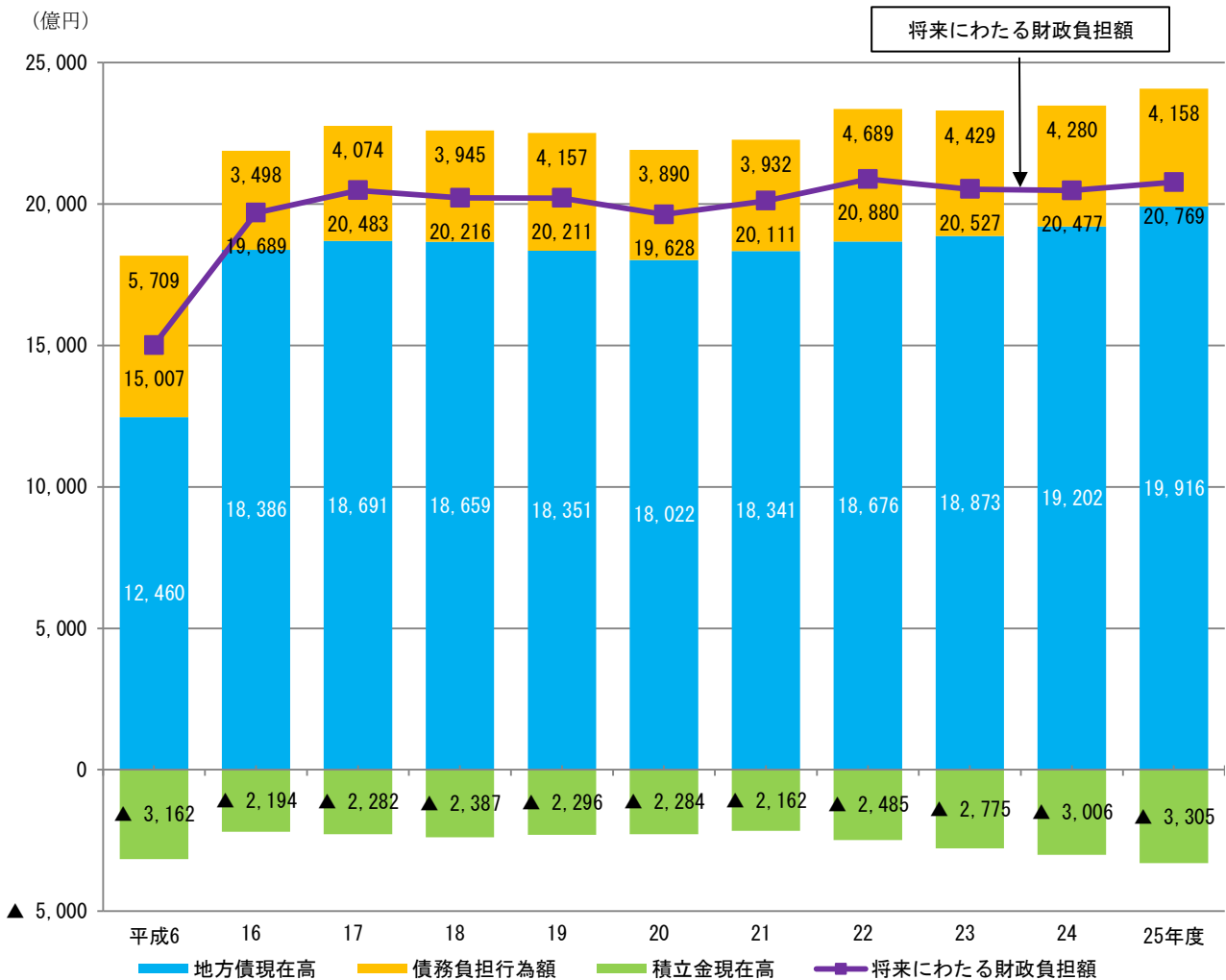
平成25年度末における将来にわたる財政負担額(※)は、2兆769.0億円となり、前年度と比べて291.9億円減少(+0.5%)しましたが、依然として標準財政規模の約1.5倍もの負担をかかえており、今後も財政構造の硬直化が懸念されます。

※将来にわたる財政負担額＝地方債現在高＋債務負担行為額－積立金現在高

(%) 将来にわたる財政負担の推移



(億円)



一用語解説一

債務負担行為

歳出予算の金額、継続費の総額または繰越明許費の金額の範囲内におけるものを除くほか、地方公共団体が債務を負担する行為につき、その行為の内容を予算として定めておくもので、将来の支出を伴うものです。